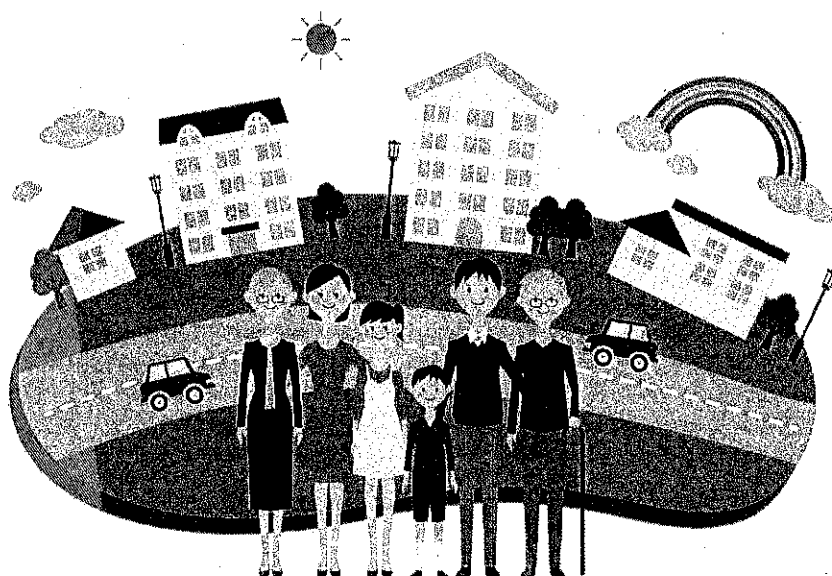


令和2年度
大野市社会福祉協議会事業報告書



社会福祉法人大野市社会福祉協議会

令和2年度大野市社会福祉協議会事業報告

I 事業総括

本協議会は、市民が住み慣れた地域で自立し、お互いに支え合い、助け合いながら共に生きることができる地域共生社会の実現を目指し、「結の心でつながる福祉のまち」を基本理念に掲げ、各事業に取り組んでいます。本年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、密を避けることが出来ないイベント（福祉ふれあいまつり、社会福祉大会等）や高齢者に関する事業等は中止・延期とし、厳しい決断をせざるを得ない年度でありました。

このような状況のもと、第四次地域福祉活動計画は本年度が最終期となるため、これまでの取り組みの評価とその検証を踏まえて、これからの地域福祉活動をより行動的に進める指針となる第五次地域福祉活動計画を策定しました。

地域福祉事業については、コロナ禍により事業及び活動が縮小となった中でも、様々な地域福祉事業等に取り組みました。とりわけ、身近な地域での支え合い・助け合い活動（第2層協議体活動）を支援し、また、判断能力の不十分な方の権利を擁護するための生活あんしんセンター「結はあと」による法人後見事業の拡充を図り、地域住民が安心して暮らすことができる福祉のまちづくりに努めました。

介護保険事業等については、利用者の新型コロナウイルス感染予防を第一に考え、利用者本位のサービスの提供に努めました。また、採算性の確保では、新型コロナウイルス感染拡大による営業の休止、さらに大雪による営業時間短縮や休止も併せ非常に厳しい経営となりました。

II 重点目標の取り組み結果

1 法人運営と地域福祉活動計画の策定

- ・ 第四次地域福祉活動計画（H28年度～R2年度）が最終期となり、これまでの取り組みの最終評価と検証を行い、新たに「学齢期からの福祉教育の推進」、「若年からのボランティア意識の醸成」等を主眼に置いた第五次地域福祉活動計画を策定しました。
- ・ 大規模災害による被災に備え、災害ボランティアセンターの設置・運営等を迅速かつ円滑に遂行するため、郡上市社会福祉協議会と災害ボランティアセンター相互応援協定を締結しました。

2 地域で支え合いと助け合いの地域福祉活動の推進

- ・ 本年度は福祉委員3年任期の初年度でありましたが、福祉委員活動は、コロナ禍にあって休止や延期等その自粛を余儀なくされました。また、高齢者の支え合い・助け合い活動を広めるシンポジウム「まるっと大野 かんがえよう」の開催についても中止としましたが、福祉委員の活動や地域住民主体活動である第1層と第2層協議体の活動は、つながりを途切れさせないように取り組みを進めました。

3 権利擁護や生活支援サービスの充実

- ・ 地域における権利擁護の取り組みとして、認知症、知的障がい、精神障がい等により判断能力が不十分な方が、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、情報提供や福祉サービスの利用援助及び日常的な金銭管理サービスを行いました。また、法人後見事業では、判断能力が不十分な方に対し、家庭裁判所の監督のもと財産管理、身上監護等の支援を行いました。

4 安定的な介護保険事業等の運営による財源の確保

- ・ 新型コロナウイルス感染症及び大雪による影響で、介護保険事業等全体として非常に厳しい経営状況となりました。引き続き、コロナ感染予防対策の強化を図り、今後も利用者満足度を高める取り組みをさらに推進するとともに、PRの強化にも努め、利用者の増加を目指していきます。

Ⅲ 拠点区分ごとの取り組み結果

1 法人運営事業

地域福祉を推進する社協として各事業を精力的に進め、法人の健全な運営を図るとともに、提供するサービスの向上と事業運営の透明性を図ることに努めました。

- (1) 事務局運営事業…………… (大野市補助事業)

2 地域福祉推進事業

福祉の人づくり・福祉のまちづくりを推進する事業

第四次大野市社会福祉協議会地域福祉活動計画（H28年度～R2年度）に基づき、誰もが住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるよう、地域みんながともに支え合い・助け合いながら、地区社協や福祉委員等と連携・協働し、安心のある福祉のまちづくりに努めました。

- (2) 地域福祉活動推進事業…………… (大野市補助事業)
(3) 地域福祉イベント事業…………… (")
(4) つながりの輪づくり事業…………… (福井県社協補助事業)

高齢者及びその家族等を支援する事業

高齢者が安心して在宅生活を送ることができるよう各事業を実施し、孤立感の解消や介護予防、生きがい活動の推進に資することができました。

- (5) 生活支援体制整備事業（第1層）…………… (大野市受託事業)
(6) 生活支援体制整備事業（第2層）…………… (")
(7) ひとり暮らし高齢者等配食サービス事業…………… (")
(8) ひとり暮らし高齢者のつどい事業…………… (大野市補助事業)
(9) 在宅介護支援センター事業…………… (大野市受託事業)
(10) 家族介護教室事業…………… (")
(11) 高齢者ふれあいサロン事業…………… (")
(12) お出かけほっとサロン事業…………… (")
(13) 高齢者巡回ホームヘルパー派遣事業…………… (")

ボランティア活動を推進する事業

誰もがボランティア活動に参加できるまちづくりを推進するため、ボランティアセンターの充実に努め、ボランティア活動ネットワークの強化、ボランティア講座等を実施し、ボランティア活動の底上げに努めました。

- (14) ボランティア活動推進事業…………… (大野市補助事業)
(15) 災害ボランティア活動推進事業…………… (大野市受託事業)

障害者及びその家族等を支援する事業

障害者が住み慣れた地域で安心して生活を送ることができるよう、地域での自立支援に取り組みました。

- (16) 障害者社会参加支援事業…………… (大野市受託事業)
- (17) 障害者相談支援事業…………… (//)

生活支援等に関する事業

生活困窮者等が住み慣れた地域で安心して生活を送ることができるよう、相談や支援活動、情報提供、福祉資金貸付等を行い、地域での生活支援に取り組みました。

- (18) 日常生活自立支援事業…………… (福井県社協受託事業)
- (19) 法人後見事業…………… (自主事業)
- (20) 福祉資金貸付事業…………… (福井県社協受託事業、一部自主事業)

共同募金配分金を活用する事業

大野市共同募金委員会へ協力し、赤い羽根共同募金と歳末たすけあい募金活動を拡充するとともに、地域福祉事業に配分される資金を各事業に有効に活用しました。

- (21) 共同募金配分金事業…………… (自主事業)

3 在宅福祉サービス事業

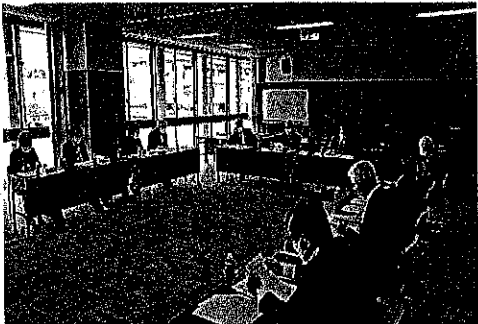
利用者本位のサービス提供を基本理念に置いて、高齢者及び障害者の心身の状態や環境に応じて、意向や要望等を反映した良質なサービスを総合的かつ一体的に提供できるよう努めました。

- (22) 障害者計画相談事業…………… (自主事業)
- (23) 障害者居宅介護サービス事業…………… (//)
- (24) 放課後等デイサービス事業…………… (//)
- (25) 居宅介護支援事業…………… (//)
- (26) 訪問介護事業…………… (//)
- (27) 和泉通所介護事業…………… (//)
- (28) 天神通所介護事業…………… (//)

IV 各事業の具体的な取り組み

1 法人運営事業

事業名	事務局運営事業	
事業形態	大野市補助事業 決算額 53,101,945 円 (大野市補助金 21,933,000 円、大野市・勝山市受託金 600,000 円、自主財源 30,568,945 円)	
実施内容	<p>(1) 法人経営の組織体制の充実強化</p> <p>①理事会の開催 (年4回)</p> <p>業務執行上の事項及び当面する課題について審議し、その企画立案を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年6月9日(火)午後1時30分 出席者 理事11人 監事2人 職員11人 議題1 令和元年度大野市社会福祉協議会事業報告及び収支決算の承認について 議題2 令和2年度大野市社会福祉協議会資金収支補正予算(第1号)(案)について 議題3 大野市社会福祉協議会評議員選任委員会委員の選任について 議題4 大野市社会福祉協議会評議員選任委員会会議の招集について 議題5 大野市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について 議題6 大野市社会福祉協議会定時評議員会の招集について 議題7 大野市社会福祉協議会理事候補者の選任について 議題8 令和元年度大野市社会福祉協議会社会福祉充実残額の算定結果について(報告) <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年10月26日(月)午後1時30分 出席者 理事11人 監事2人 職員10人 議題1 専決処分の承認を求めることについて (令和2年度大野市社会福祉協議会資金収支補正予算(第2号)) 議題2 会長職務執行状況の報告について その他 令和2年度賛助会費収納実績について 第四次地域福祉活動計画評価報告及び第五次地域福祉活動計画の概要について <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年2月15日(月)午後1時30分 中止 議題1 短期運営資金の借入れについて 議題2 第35回福祉ふれあいまつりのあり方について <p>上記の理事会については、新型コロナウイルスの感染が大野市で確認されたため中止し、付議する予定であった議題1については、会長が理事・監事に対して理事会の決議の目的である事項(議題)について提案した。</p> <p>その結果、提案議題に全理事から同意を得、また監事からは提案議題に異議がなかったため、当該議題を承認(可決)する理事会の決議があったものとみなされました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年3月11日(木)午後3時00分 出席者 理事14人 監事2人 職員10人 議題1 令和2年度大野市社会福祉協議会資金収支補正予算(第3号)(案)について 議題2 大野市社会福祉協議会経理規程の一部改正について 議題3 令和3年度大野市社会福祉協議会事業計画(案)について 	



10月26日 理事会

- 議題4 令和3年度大野市社会福祉協議会資金収支予算(案)について
- 議題5 大野市社会福祉協議会評議員会の招集について
- 議題6 役員等賠償責任保険契約の内容について
- 議題7 第五次大野市社会福祉協議会地域福祉活動計画(案)について
- 議題8 会長職務執行状況の報告について

②総務・事業合同部会の開催(年1回)

- ・令和3年2月26日(金)

出席者 理事11人 監事2人 職員4人

(1) 大野市社会福祉協議会地域福祉活動計画について

①第四次大野市社会福祉協議会地域福祉活動計画の最終評価について

②第五次大野市社会福祉協議会地域福祉活動計画(案)について

(2) 第35回福祉ふれあいまつりのあり方について

③評議員会の開催(年2回)

運営管理上の重要事項及び業務執行上の基本方針について審議し決定を行いました。

- ・令和2年6月24日(水)午後7時00分

出席者 評議員30人 理事10人 監事2人 職員11人

議案第1号 令和元年度大野市社会福祉協議会事業報告及び収支決算の承認について

議案第2号 令和2年度大野市社会福祉協議会資金収支補正予算(第1号)(案)について

議案第3号 大野市社会福祉協議会理事の選任について

報告第1号 令和元年度大野市社会福祉協議会社会福祉充実残額の算定結果について(報告)

- ・令和3年3月26日(金)午後7時00分

出席者 評議員21人 理事11人 監事2人 職員11人

議案第4号 専決処分の承認を求めることについて

(令和2年度大野市社会福祉協議会資金収支補正予算(第2号))

議案第5号 令和2年度大野市社会福祉協議会資金収支補正予算(第3号)(案)について

議案第6号 令和3年度大野市社会福祉協議会事業計画(案)について

議案第7号 令和3年度大野市社会福祉協議会資金収支予算(案)について

報告第2号 第四次大野市社会福祉協議会地域福祉活動計画の最終評価及び第五次大野市社会福祉協議会地域福祉活動計画の策定について

④監査会(監事監査)の開催(年1回)

運営管理、業務の執行状況及び財産の状況等について監査を受けました。

- ・令和2年5月27日(水)午後1時30分

出席者 監事2人、齊藤会長、職員6人

内容 事業執行状況及び決算監査

⑤評議員選任委員会の開催(年1回)

会長から本会の評議員として推薦された候補者について審議し、選任について決議を行いました。

- ・令和2年6月12日(金)午前9時30分

出席者 評議員選任委員5人、齊藤会長、職員4人

議題1 大野市社会福祉協議会評議員の選任について

⑥福祉サービス等に関する苦情解決第三者委員会の開催（年1回）

各種福祉サービス等の苦情について、受付及び対応したことを第三者委員へ報告し、助言等を受けました。

・令和2年11月27日（金）午前9時30分

出席者 第三者委員2人、職員4人

内 容 苦情等の受付状況、苦情内容について報告

⑦正副会長会議の開催（月1回）

業務執行上の近況報告及び当面する課題等を検討しました。

・令和2年4月～令和3年3月 午前9時30分

出席者 正副会長3人 職員10人

内 容 当面の日程調整等について

地域福祉推進事業全般の進捗状況について

介護保険事業等の収支報告について

⑧企画調整会議の開催（月1回）

各グループの主任以上の者が近況報告及び当面する課題について方向性等検討しました。

・令和2年4月～令和3年3月 午後4時00分

出席者 局長、次長、総括主任2人、主任6人

内 容 当面の日程調整等について

地域福祉推進グループ、介護保険グループからの実績報告、課題検討について

⑨第四次大野市社会福祉協議会地域福祉活動計画の最終評価と研修並びに第五次大野市社会福祉協議会地域福祉活動計画の策定

・事務局内部によるワーキング会議の開催（8月～1月 月1回）

出席者 局長、次長、総括主任2人、主任（地域福祉担当）1人

内 容 第四次地域福祉活動計画の進め方等検討

第四次地域福祉活動計画の最終評価作業と検証

第五次地域福祉活動計画概要、基本フレーム、実施計画、推進項目の作成

・第五次地域福祉活動計画策定委員会の開催（年3回）

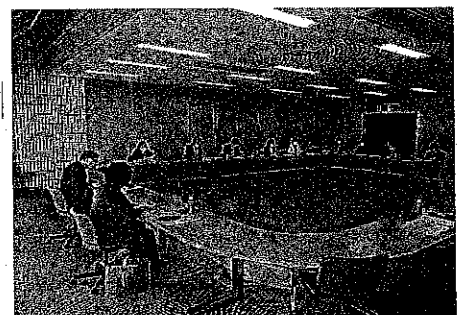
出席者 区長会ほか関係団体から選出の委員11人、事務局5人

内 容 第四次地域福祉活動計画の評価内容について

第五次地域福祉活動計画概要、基本フレ

ーム、実施計画、推進項目について

第五次地域福祉活動計画（案）について



3月3日 第五次地域福祉活動計画策定委員会

⑨郡上市社会福祉協議会との災害ボランティアセンター相互応援協定の締結

大規模災害による被災に備え、災害ボランティアセンター設置・運営等を迅速かつ円滑に遂行するため、郡上市社会福祉協議会と災害ボランティアセンター相互応援協定を締結しました。

・令和2年7月29日（水）午前11時00分

出席者 大野市社会福祉協議会

齊藤会長、南部副会長、宮下副会長

大野市災害ボランティアセンター連絡協議会

葭安会長

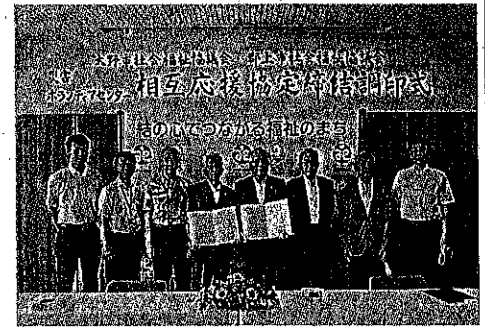
郡上市社会福祉協議会

石神会長、尾田副会長、佐藤副会長

立会人 大野市企画総務部防災防犯課 乾川課長

7月29日 調印式

その他 理事、監事、職員、郡上市社協職員等22人



⑩役職員研修等の実施（年2回）

・県外先進地社協へ視察

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

・福井県社会福祉大会に参加

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため不参加

(2) 財政基盤の強化

①一般会費、賛助会費

関係機関と連携し、社協のPR活動に努め、住民会員、賛助会員への理解を求めるとともに、会員の増員を図りました。

1 一般会費

大野	3,662 世帯	1,831,000 円
下庄	2,086 世帯	1,043,000 円
乾側	220 世帯	110,000 円
小山	454 世帯	227,000 円
上庄	947 世帯	473,500 円
富田	780 世帯	390,000 円
阪谷	397 世帯	198,500 円
和泉	178 世帯	89,000 円
五箇	27 世帯	13,500 円
計	8,751 世帯	4,375,500 円

2 賛助会費

大野	120 事業所	710,000 円
下庄	78 事業所	484,000 円
乾側	12 事業所	81,000 円
小山	14 事業所	88,000 円
上庄	27 事業所	162,000 円
富田	9 事業所	41,000 円
阪谷	3 事業所	13,000 円
和泉	18 事業所	124,000 円
その他	14 事業所	233,000 円
計	295 事業所	1,936,000 円

②寄附金等

寄附金について社協だより等で理解を求め、確保に努めました。

金銭 24 件 1,209,393 円

物品 ・リングプル (310kg 19,300 円相当)

・エコキャップ (1,265.5kg 553,615 個)

・古切手 (197 件)

・尿とりパット 280 枚

・切手 1,651 枚

- ・はがき 14 枚
- ・マスク 400 枚
- ・消毒用エタノール 500ml 20 本
- ・プラスチックバケツ 2 個
- ・プラスチックタライ 4 個



ハンドマッサージかがやきからマスクを寄贈

③赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金運営の協力

関係機関と連携し、共同募金活動の PR に努め、募金への理解を求めました。

令和 2 年 10 月 1 日 共同募金オープニングセレモニー

10 月 1 日～ 赤い羽根共同募金

各区長へ依頼、職域募金、学校募金、法人共同募金活動

12 月 1 日～ 歳末たすけあい募金

各区長へ依頼

その他、街頭募金、PR 活動（福祉ふれあいまつり、越前おおの産業と食彩フェア、九頭竜紅葉まつり会場での PR 活動） 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止



10 月 1 日 オープニングセレモニー



開成中学校の善意銀行が共同募金に協力

(3) 福祉人材の育成

職員研修等の充実

資質向上の各種研修会の開催及び外部研修等に参加しました。

①外部研修への参加

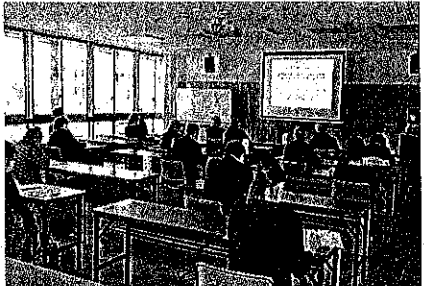


総務・地域福祉職員（年 7 回 述べ 10 人）、介護保険等職員（年 24 回 述べ 32 人）


②外部会議への参加



総務・地域福祉職員（年 10 回 述べ 12 人）、介護保険等職員（年 8 回 述べ 8 人）

③内部研修の実施

- ・救急講習会 和泉デイ職員 5 人
- ・介護技術研修 天神デイ職員 7 人
- ・虐待防止研修 居宅介護支援、訪問介護、天神デイ、和泉デイ、放課後等デイ、地域福祉 31 人
- ・接遇研修 天神デイ、訪問介護、和泉デイ、地域福祉 23 人

事業名	地域福祉活動推進事業
事業形態	大野市補助事業 決算額 2,617,973 円 (大野市補助金 1,209,295 円、自主財源 1,408,678 円)
実施内容	<p>(1) 地区社協活動支援</p> <p>地域住民の生活・福祉課題が複雑・多様化する中で、地区社協は地域福祉の基盤団体であるとともに、住民自身による活動の主體的な取組の場としての役割を担っています。それぞれの地域実情・福祉課題に応じた住民主体の地域福祉活動がより一層推進されることを目的として支援しました。</p> <p>①地区社協（8地区）支援のための事務局・支援担当者の配置 運営費補助、各団体との連絡調整、事業企画支援、役員会等の開催</p> <p>②地区社協会長会議の開催（年1回） 日時 令和3年3月17日（水）午後1時30分 参加者 各地区社協会長12人、事務局8人 内容 地域福祉推進の実践について 講師：福井県社会福祉協議会 地域福祉課 課長補佐 岩田さおり 氏</p>  <p>地区社協会長・福祉委員会会長会議</p> <p>(2) 福祉委員活動支援</p> <p>地域における福祉課題への解決に向けた取り組みや地域交流を深めることを目的に設置された福祉委員活動を支援し、地域実情に応じたきめ細かな小地域福祉活動がそれぞれの地域で実践されることを目的として支援しました。</p> <p>①福祉委員会支援のための事務局・支援担当者の配置 運営費補助、各団体との連絡調整、事業企画支援、役員会等の開催</p> <p>②地区福祉委員会会長会議の開催（年1回） 上記の地区社協会長会議と合同で開催</p> <p>③福祉委員研修会の開催（年1回） 日時 令和2年12月9日（水）午後7時00分 参加者 福祉委員40人 内容 上手なコミュニケーションの取り方について 講師 アソシエメンタルオフィス 代表 中村 まゆみ 氏</p>  <p>市全体の福祉委員研修会</p> <p>(3) 小地域支え合い支援事業</p> <p>各行政区において、福祉委員を中心として、区長及び民生児童委員と連携しながら、地域のつながり強化を目的に各行事等を実施してもらい、地域の生活・福祉課題をみんなで考え、解決に向けて取り組む活動を支援しました。</p> <p>実施地区（7地区） 南春日野区、新町区、上丁区、中丁区、新河原区、 蔵生区、大西出区</p>  <p>大野市消防職員による救命入門コース（蔵生区）</p>

事業名	地域福祉イベント事業	
事業形態	大野市補助事業 決算額 0 円	
実施内容	<p>(1) 福祉ふれあいまつりの開催</p> <p>福祉まつりを開催することにより、子どもから高齢者、障害者の全ての人がイベントを通して、共にふれあい、交流を深めることにより福祉意識の高揚とふれあいの輪の拡充、障害者の自立促進を図りました。</p> <p style="text-align: center;"><u>新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</u></p> <p>(2) 大野市社会福祉大会の開催</p> <p>福祉関係者が一堂に会し、福祉活動実践者等に対する表彰や講演会を行い、市民への福祉意識の高揚を図りました。</p> <p style="text-align: center;"><u>新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</u></p>	
事業名	つながりの輪づくり事業	
事業形態	福井県社協補助事業 決算額 111,339 円 (福井県社協補助金 111,000 円、自主財源 339 円)	
実施内容	<p>市民のボランティア活動の核となるボランティアセンターの環境整備と機能強化を図り、ボランティア活動の活性化をはかりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアセンター内にパソコン等備品の整備 ・ボランティアグループと連携したボランティアセンターの管理 ・ボランティア紹介冊子の作成、配布 等 	
事業名	生活支援体制整備事業 (第1層)	
事業形態	大野市受託事業 決算額 1,663,043 円 (大野市受託金 1,416,012 円、自主財源 247,031 円)	
実施内容	<p>日常生活上の支援が必要な高齢者が、住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続していくために、住民ボランティア等多様な主体による生活支援、介護予防サービスの充実・強化を図るとともに、地域における支え合いの体制づくりを推進することを目的に実施しました。</p> <p>①生活支援コーディネーターの配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2層協議体、勉強会への参加 ・第2層協議体立ち上げ支援 ・研修会等への参加 ・市内で行われている「助け合い活動」の調査 ・生活支援コーディネーター定例連絡会への参加 <p>②推進会議の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結の心でつながる支え合いの地域づくり推進会議の開催 <p style="text-align: center;"><u>新型コロナウイルス感染拡大防止のため4回から3回に変更</u></p> <p>③シンポジウム「まるっと大野 かんがえよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民主体の地域づくりの重要性や各地域に設置された第2層協議体を広くPRすることを目的に開催 <p style="text-align: center;"><u>新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</u></p> <p>④第1層協議体・第2層協議体合同研修会 (市共催)</p> <p style="text-align: center;">参加者 44 人</p>	 <p style="text-align: center;">第3回推進会議</p>

事業名	生活支援体制整備事業（第2層）	
事業形態	大野市受託事業 決算額 2,665,736 円（大野市受託金 1,756,000 円、自主財源 909,736 円）	
実施内容	<p>日常生活上の支援が必要な高齢者が、住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続していくために必要となる、多様な主体による多様な生活支援サービス、介護予防事業の提供体制を構築するため、支援ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、サービスを提供する事業主体と連携して支援体制の充実・強化を図ることを目的に実施しました。</p> <p>①第2層生活支援コーディネーターの配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援・介護予防サービスのコーディネート等に関する業務 ・支援ニーズの把握 ・支援ニーズに即したサービス提供主体の紹介 ・関係者間のネットワークの構築 ・サービスの担い手となるボランティア等の養成業務 ・大野地区第2層協議体の立ち上げ勉強会の開催 ・第2層協議体設置後の運営支援 ・生活支援コーディネーター定例連絡会への参加 ・研修会等への参加 	 <p>第2層立ち上げに向けた勉強会</p>
事業名	生活支援体制整備事業（第2層 乾側）	
事業形態	大野市受託事業 決算額 300,935 円（大野市受託金 296,755 円、自主財源 4,180 円）	
実施内容	<p>日常生活上の支援が必要な高齢者が、住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続していくために必要となる、多様な主体による多様な生活支援サービス、介護予防事業の提供体制を構築するため、支援ニーズとサービスのコーディネート等を行い、サービスを提供する事業主体と連携して支援体制の充実・強化を図ることを目的に実施しました。</p> <p>①第2層生活支援コーディネーターが中心となり乾側地区協議体構成員と協力しながら下記内容業務を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援・介護予防サービスの提供状況の把握及び創出 ・支援ニーズの把握 ・支援ニーズに適したサービスの紹介 ・関係者間のネットワークの構築 ・第2層協議体（月1回開催）の運営 等 <p><u>新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月・5月・1月は中止</u></p>	 <p>乾側第2層協議体の定例会議</p>
事業名	ひとり暮らし高齢者等配食サービス事業	
事業形態	大野市受託事業 決算額 2,337,502 円（大野市受託金 1,857,202 円、自主財源 480,300 円）	
実施内容	<p>在宅の65歳以上の虚弱なひとり暮らし高齢者やふたり暮らし高齢者世帯等に給食を届け、健康の増進と自立生活の助長を図り、併せて安否確認と社会的孤立の解消を図りました。</p> <p>(1) ひとり暮らし高齢者配食サービス（月2回の配食）</p> <p>中部地区（大野）349食、北部地区（下庄）99食、（乾側）0食 南部地区（小山・上庄）31食、東部地区（富田・阪谷・五箇）181食 和泉地区57食</p>	

(2) まごころ訪問配食サービス (ひとり暮らし高齢者世帯、ふたり暮らし高齢者世帯、障害者世帯) (月1回の配食)
 中部地区 (大野) 413食、北部地区 (下庄) 128食
 (乾側) 12食、南部地区 (小山・上庄) 40食
 東部地区 (富田・阪谷・五箇) 204食、
 和泉地区 87食



有終南小児童から弁当カバー絵を寄贈

新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月・5月・R3.2月は中止

事業名 ひとり暮らし高齢者のつどい事業

事業形態 大野市補助事業 決算額 0円

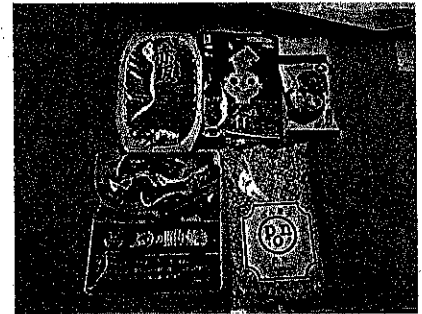
ひとり暮らし高齢者のつどい「かたらいの会」の開催

ひとり暮らし高齢者につどいの場を提供することにより、参加者同士の交流の輪をひろげるとともに、高齢者の孤立の防止となるきかっけづくりを支援する事業です。

日 時：令和2年10月10日 (土) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

実施内容 代替事業として「ほんの気持ち事業」を実施
 (共同募金配分金を活用)

過去2年間に「ひとり暮らし高齢者のつどい事業」に参加者していただいた高齢者に対して、ボランティアグループ「絵手紙ひよっこくらぶ」による絵手紙を添えて粗品を郵送し、支援を行った。



ひとり暮らし高齢者への粗品


事業名 在宅介護支援センター事業

事業形態 大野市受託事業 決算額 3,232,569円 (大野市受託金 1,898,000円、自主財源 1,334,569円)

概ね65歳以上の要援護高齢者及び要援護となるおそれのある高齢者並びにその家族に対し、在宅介護等に関する総合的な相談に応じ、保健・福祉サービスが総合的に受けられるように関係機関との連絡調整を行い、要援護高齢者及びその家族等の福祉の向上を図りました。(陽明中学校区、和泉中学校区)

相談者	延べ人数
本人	33人
家族・親族	85人
近隣住民、知人	13人
民生委員	2人
区長	1人
介護支援専門員	30人
介護保険事業所	9人
医療機関	24人
警察	0人
その他	96人
計	293人

相談内容	延べ人数
介護保険利用等	24人
退院前	6人
医療	0人
施設入所	5人
健康、予防	110人
虐待・認知症介護	14人
成年後見、権利擁護	2人
介護用品斡旋、支給申請等	132人
計	293人

事業名	家族介護教室事業														
事業形態	大野市受託事業 決算額 324,896 円 (大野市受託金 324,296 円、自主財源 600 円)														
実施内容	<p>介護保険認定者家族を中心として、社協が担当している地域において、介護方法や介護予防、介護者の健康づくりについての知識や技術習得のための介護教室を開催しました。</p> <p>①アンケート実施 6月～9月 アンケート内容検討、アンケート実施及び集計、結果の活用等</p> <p>②家族介護教室 実施地区：陽明中学校区、和泉中学校区 (年3回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>内容</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12月17日(木)</td> <td>和泉公民館</td> <td>ひと息ついて、すこやかに</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>令和3年 2月22日(月)</td> <td>結とびあ</td> <td>リフレッシュ体操</td> <td>18人</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>新型コロナウイルス感染拡大防止のため3回から2回に変更</u></p>			開催日	会場	内容	参加人数	12月17日(木)	和泉公民館	ひと息ついて、すこやかに	9人	令和3年 2月22日(月)	結とびあ	リフレッシュ体操	18人
開催日	会場	内容	参加人数												
12月17日(木)	和泉公民館	ひと息ついて、すこやかに	9人												
令和3年 2月22日(月)	結とびあ	リフレッシュ体操	18人												
事業名	高齢者ふれあいサロン事業														
事業形態	大野市受託事業 決算額 390,701 円 (大野市受託金 168,000 円、自主財源 222,701 円)														
実施内容	<p>相互のふれあいを通して、生きがいと社会参加を促進するとともに、社会的孤立感の解消、自立生活の助長及び要介護状態になることの予防を図ることを目的に実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容：各種相談、情報交換、手芸講座、その他の自立支援に関することを、公民館、集落センター等において7回実施 ・対象者：概ね65歳以上で介護予防活動や生きがいづくりに取り組む高齢者等 ・利用者数：1回あたり平均10人 ・実施箇所 <table border="1"> <thead> <tr> <th>地区名</th> <th>サロン名</th> <th>実施回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大野</td> <td>国時団地サロン</td> <td>年7回</td> <td>延70人</td> </tr> </tbody> </table>  <p>国時団地サロン 紙皿で工作</p> <p><u>新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月・5月及び大雪のため1月・2月は中止</u> <u>今年度から開始する予定であった中荒井町2丁目サロンは、年間通して中止</u></p>			地区名	サロン名	実施回数	参加人数	大野	国時団地サロン	年7回	延70人				
地区名	サロン名	実施回数	参加人数												
大野	国時団地サロン	年7回	延70人												
事業名	お出かけほっとサロン事業														
事業形態	大野市受託事業 決算額 8,179,083 円 (大野市受託金 8,179,083 円)														
実施内容	<p>市内温浴施設において老人会及び障害者団体の加入者が、健康等の話を聞き、また昼食、入浴を通して交流をしていただきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 (年間) <p>大野地区355人、下庄地区162人、乾側地区39人、小山地区15人、上庄地区104人、富田地区173人、五箇地区12人、阪谷地区91人、和泉地区27人、障害者団体47人 計1,025人</p> <p><u>新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月～6月は中止し、7月より身体的距離を確保するため、参加グループを半分に分け、概ね20人以下で実施</u></p>														

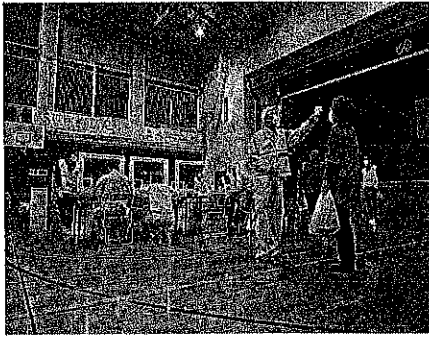

事業名	高齢者巡回ホームヘルパー派遣事業
事業形態	大野市受託事業 決算額 4,086,991 円 (大野市受託金 2,642,000 円、自主財源 1,444,991 円)
実施内容	<p>虚弱な高齢者にホームヘルパーを派遣し、巡回相談を行うことにより、在宅での自立生活の助長と要介護状態への進行予防を目的にサービスを提供しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内 容：市からの派遣決定通知に基づきサービス実施週 1 回程度の訪問生活、身上及び介護に関する相談及び助言 ・ 対象者：65 歳以上の一人暮らし高齢者介護保険制度の要介護認定によって「自立」と認定された方、一人暮らし高齢者台帳に登録されている方 ・ 利用状況等：利用者数 29 人
事業名	ボランティア活動推進事業
事業形態	大野市補助事業 決算額 1,535,046 円 (大野市補助金 740,809 円、自主財源 794,237 円)
実施内容	<p>これからの地域の担い手となる市民ボランティアの活動をより一層支援し、また福祉ボランティア活動に限らず、NPO を含めた自発的な市民活動や当事者の活動など幅広くボランティア活動の活性化を図りました。</p> <p>①ボランティアセンター基盤強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア相談 30 件 ・ ボランティアセンター利用状況 222 件 (延べ 1,431 人) ・ 社協だより及びホームページで情報発信 ・ 月間カレンダーによる広報及び周知 等 <p>②ボランティア講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内小中学校福祉体験教室の開催 ・ ボランティアコミュニケーション技術レベルアップ講座 (年 1 回) 参加者 19 人 <p>③ボランティア啓発、登録、紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 登録相談 8 件 (団体 2、個人 6 人) 新規登録者 46 人 R2 年度登録者 1,251 人 ・ 紹介相談 30 件 紹介人数 34 人 ・ ボランティア保険の加入啓発・受付 664 人 ・ ボランティア団体紹介パネル作成及び展示 ・ 登録個人ボランティア、団体調査 ・ 各種ボランティア活動助成金の情報提供 ・ ボランティア紹介冊子の作成、配布 ・ ボランティアセンター案内看板作成・設置 <p>④ボランティア活動ネットワークによる活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ネットワーク会議 (年 2 回) ・ ボランティア団体交流会 (年 1 回) <p><u>新型コロナウイルス感染拡大防止のため県外視察研修は中止</u></p> <p>⑤ボランティアグループ等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア連絡協議会例会 (年 8 回) ・ 傾聴ボランティアよつば例会 (年 4 回)



有終東小学校の手話体験教室



除雪ボランティアの活動

事業名	災害ボランティア活動推進事業
事業形態	大野市受託事業 決算額 265,247 円 (大野市受託金 165,245 円、自主財源 100,002 円)
実施内容	<p>平常時における構成団体等相互の連携及び協力関係の促進等、災害時に迅速かつ的確な対応ができるよう大野市災害ボランティアセンター連絡協議会を中心に研修会等を実施しました。</p> <p>①災害ボランティアセンター連絡協議会の開催</p> <p>日 時：令和2年8月28日(金)午後1時30分 内 容：会長、副会長の選任について 郡上市社協との災害VC相互応援協定締結について 大野市総合防災訓練の概要について 災害ボランティアセンター設置・運営訓練について 等</p>  <p>新型コロナウイルス対策も考慮した 災害ボランティアセンター設置運営訓練</p> <p>②大野市総合防災訓練への参加</p> <p>日 時：令和2年10月3日(土)午前7時00分 会 場：和泉小中学校体育館 参加者：災害ボランティアセンター連絡協議会構成団体、社協職員計26人</p> <p>③災害ボランティア研修への実施</p> <p>日 時：令和2年12月14日(水)午後7時00分 参加者：災害ボランティアセンター連絡協議会構成団体、社協職員計28人 内 容：牛乳パックを使った災害時に役立つ「一人用非常食セット」「笛」等の作成 講師 大野市赤十字奉仕団</p>
事業名	障害者社会参加支援事業
事業形態	大野市受託事業 決算額 1,057,976 円 (大野市受託金 1,049,956 円、自主財源 8,020 円)
実施内容	<p>障がいのある人も家庭や地域で通常の生活ができるようにする社会づくりの実現に向けて、障がいの者の需要に応じた事業を実施し、障がいの者の自立と社会参加の促進を図りました。</p> <p>①スポーツ・レクリエーション教室の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年11月29日(日)手作りマスク教室 参加者10人 ・令和2年12月20日(日)チョークアート教室 参加者17人 <p>②点字・声の広報等発行事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報おおの、社協だより等の音訳での情報提供 24件 ・政府広報等の点訳での情報提供、点字体験学習 15件  <p>チョークアート教室</p> <p>③奉仕員等養成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点訳ボランティア養成講座の開催(年5回)受講者3人 ・要約筆記体験講座の開催(年2回)受講者3人 <p><u>新型コロナウイルス感染拡大防止のため要約筆記体験講座2回目は中止</u></p> <p>④福祉機器の無料貸出実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車椅子(短期用54件、長期用16件) ・ベッド(短期用0件、長期用8件)

事業名	障害者相談支援事業																																
事業形態	大野市受託事業 決算額 6,677,365 円 (大野市受託金 6,627,365 円、自主財源 50,000 円)																																
実施内容	<p>全ての障がい者(児)や難病者等及びその家族を対象に、相談支援専門員を配置し、奥越地区障害者自立支援協議会を中核として、関係市、地域の保健・医療・福祉・教育等のサービス機関、就労支援機関等と綿密な連携を図り、利用者又はその家族の相談に応じ、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう事業を実施しました。</p> <p>①在宅生活に必要な福祉サービスの情報提供等 福祉サービスの利用援助、社会資源を活用するための支援、社会生活力を高めるための支援、ピアカウンセリング、権利擁護のために必要な援助、専門機関の紹介、地域生活移行支援</p> <p>②奥越地区障害者自立支援協議会との連携 運営会議、個別ケース会議、各部会等への参加</p> <p>③相談件数 (R3. 3. 31現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>身体</th> <th>知的</th> <th>精神</th> <th>発達</th> <th>児童</th> <th>その他</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計</td> <td>97</td> <td>264</td> <td>290</td> <td>367</td> <td>86</td> <td>3</td> <td>1,107</td> </tr> </tbody> </table> <p>④関係機関との連絡調整 (R3. 3. 31現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>身体</th> <th>知的</th> <th>精神</th> <th>発達</th> <th>児童</th> <th>その他</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計</td> <td>113</td> <td>104</td> <td>205</td> <td>298</td> <td>74</td> <td>4</td> <td>798</td> </tr> </tbody> </table> <p>⑤その他支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の居場所づくりサロン開催 (年31回) 参加者173人 ・社会生活能力向上訓練 (年4回) 参加者4人 		身体	知的	精神	発達	児童	その他	計	計	97	264	290	367	86	3	1,107		身体	知的	精神	発達	児童	その他	計	計	113	104	205	298	74	4	798
	身体	知的	精神	発達	児童	その他	計																										
計	97	264	290	367	86	3	1,107																										
	身体	知的	精神	発達	児童	その他	計																										
計	113	104	205	298	74	4	798																										
事業名	日常生活自立支援事業																																
事業形態	福井県社協受託事業 決算額 5,834,340 円 (福井県社協受託金 3,543,000 円、自主財源 2,291,340 円)																																
実施内容	<p>認知症高齢者、知的障がい、精神障がいなどがある方々が、できるだけ自立して地域で生活をおくれるよう、福祉サービスの利用手続きや日常的な金銭管理等の手伝いを実施しました。</p> <p>・利用状況 (R3. 3. 31現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>利用者</th> <th>相談、援助</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認知症高齢者</td> <td>10人</td> <td>258件</td> </tr> <tr> <td>知的障がい者</td> <td>15人</td> <td>357件</td> </tr> <tr> <td>精神障がい者</td> <td>10人</td> <td>600件</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1人</td> <td>83件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>36人</td> <td>1,298件</td> </tr> </tbody> </table>		利用者	相談、援助	認知症高齢者	10人	258件	知的障がい者	15人	357件	精神障がい者	10人	600件	その他	1人	83件	計	36人	1,298件														
	利用者	相談、援助																															
認知症高齢者	10人	258件																															
知的障がい者	15人	357件																															
精神障がい者	10人	600件																															
その他	1人	83件																															
計	36人	1,298件																															

事業名	法人後見事業																				
事業形態	自主事業 決算額 1,398,000 円 (自主財源 1,398,000 円)																				
実施内容	<p>判断能力が不十分で、契約などの法律行為等について自己の判断で適切に行うことが困難な方に対し、本人の判断能力に応じ、意思決定が最大限尊重されるよう本会が法人後見人等となり、財産管理・身上監護・その他必要な法律行為を行いました。</p> <p>・利用状況 (R3. 3. 31現在)</p> <table border="1" data-bbox="347 342 1077 593"> <thead> <tr> <th></th> <th>補助</th> <th>保佐</th> <th>後見</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認知症高齢者</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>知的障がい者</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>精神障がい者</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0人</td> <td>2人</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table> <p>・会議・研修等</p> <p>①生活あんしんセンター運営委員会の開催 (年1回)</p> <p>②法人後見受任審査会の開催 (年2回)</p> <p>③後見人等への意思決定支援研修に参加 (年1回)</p>		補助	保佐	後見	認知症高齢者	0人	1人	0人	知的障がい者	0人	1人	0人	精神障がい者	0人	0人	1人	計	0人	2人	1人
	補助	保佐	後見																		
認知症高齢者	0人	1人	0人																		
知的障がい者	0人	1人	0人																		
精神障がい者	0人	0人	1人																		
計	0人	2人	1人																		
事業名	福祉資金貸付事業																				
事業形態	福井県社協受託事業・一部自主事業 決算額 4,248,782 円 (福井県社協受託金 1,950,000 円、自主財源 2,298,782 円)																				
実施内容	<p>独立自活に必要な資金の融通を他から受けることが困難と認められる生活困窮者に対して、無利子で一時資金の貸付を行うことにより、その経済的な自立と生活意欲の助長促進を図ることを目的に実施しました。</p> <p>①県社協が実施する福祉資金貸付業務の相談及び受付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉資金 (技能習得、出産・葬祭、住居移転、緊急小口資金等) 2件 ・教育支援資金 (高校、専門学校、短大、大学等に関する学費等) 0件 ・総合支援資金 (失業者等の生活再建に関する費用) 0件 <p>②大野市社協が実施する福祉資金貸付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉資金 (最低生活費、生業費、教育費、医療費等) 6件 <p>③新型コロナウイルス感染症特例貸付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急小口資金 86件 (200,000円を上限に1世帯1回まで貸付) ・総合支援資金 21件 (緊急小口資金を借入れさ、その後も生活が安定しない方を対象に200,000円を上限に3回まで貸付) 																				

事業名	共同募金配分金事業
事業形態	自主事業 決算額 3,447,891 円 (共同募金配分金 2,690,691 円、大野市受託金 747,200 円、自主財源 10,000 円)
実施内容	<p>(1) 共同募金配分金事業</p> <p>市民から寄せられた赤い羽根共同募金を地域の福祉活動に助成・還元しました。</p> <p>①福祉教育推進事業 市内の小中学校に福祉活動事業費助成</p> <p>②障がい者ふれあい交流事業 令和2年 5月 バーベキュー大会 <u>新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</u> 令和2年10月 日帰り旅行 <u>新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</u></p> <p>③総合相談事業 無料法律相談の実施 (月2回) 第2・4木曜日 午後1時～4時 <u>新型コロナウイルス感染拡大防止のため電話による相談対応</u> 心配ごと相談の実施 (月2回) 第2・4木曜日 午前9時～正午 <u>新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</u></p> <p>④広報活動事業 ホームページ情報発信、社協だより発行</p> <p>(2) 歳末たすけあい募金配分金事業</p> <p>市内から寄せられた歳末たすけあい募金を地域の福祉活動に助成・還元しました。</p> <p>①生きがいつくり奨励事業 各地区老人クラブに対し、花壇や農園づくり、その他、野外活動に要する経費を助成</p> <p>②ひとり親家庭支援事業 令和2年12月13日(日) クリスマスケーキづくり 参加者 親子10組、ボランティア、職員 計32人</p> <p>③児童遊具修繕助成事業 児童遊具の修繕にかかる経費の1/2を3万円限度に1地区に助成</p> <p>④在宅障がい者介護用品支給事業 在宅障がい者(児)にオムツを月に90枚限度に購入の1/2を助成 利用者：障害者20人、障害児4人 計24人</p> <p>⑤共同募金啓発事業 共同募金広報ページを社協だよりに掲載し、発行</p> <div data-bbox="1050 1615 1469 1939" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1129 1944 1417 1977">クリスマスケーキづくり</p>

事業名	障害者計画相談事業																				
事業形態	自主事業 決算額 収入 4,430,080 円 支出 4,430,080 円 当期資金収支差額 0 千円																				
実施内容	<p>身体、知的、精神障がいのある本人または家族からの相談に応じ、様々な生活課題を解決できるよう、関係事業所や病院、学校や保育園等との連絡調整を行い、サービス利用計画書やモニタリング報告書の作成等の適切な支援を提供しました。</p> <p>・利用状況 (R3. 3. 31 現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>利用者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>障がい者</td> <td>47 人</td> </tr> <tr> <td>障がい児</td> <td>18 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>・令和 2 年度内容別年間実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>計画作成</th> <th>モニタリング</th> <th>認定調査</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>障害者</td> <td>36 件</td> <td>104 件</td> <td>42 件</td> </tr> <tr> <td>障害児</td> <td>34 件</td> <td>56 件</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>				利用者	障がい者	47 人	障がい児	18 人		計画作成	モニタリング	認定調査	障害者	36 件	104 件	42 件	障害児	34 件	56 件	—
	利用者																				
障がい者	47 人																				
障がい児	18 人																				
	計画作成	モニタリング	認定調査																		
障害者	36 件	104 件	42 件																		
障害児	34 件	56 件	—																		
事業名	障害者居宅介護サービス事業																				
事業形態	自主事業 決算額 収入 7,707,640 円 支出 7,707,640 円 当期資金収支差額 0 千円																				
実施内容	<p>障がい者 (児) が居宅において日常生活を営むことができるよう、その障がい者 (児) の身体その他の状況及びその置かれている環境に応じて、身体介護、家事援助、生活に関する相談・助言等生活全般にわたって支援しました。</p> <p><u>新型コロナウイルス感染予防対策として、外出援助となる通院介助や行動援護、移動支援が 85 件中止、また 1 月の大雪では 7 件中止となりました。</u></p> <p>・利用状況 (R3. 3. 31 日現在) 利用者 22 人 令和 2 年度内容別年間実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>サービス内容</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家事支援</td> <td>875 件</td> </tr> <tr> <td>身体介護</td> <td>734 件</td> </tr> <tr> <td>身体介護 (重度)</td> <td>93 件</td> </tr> <tr> <td>通院介助</td> <td>26 件</td> </tr> <tr> <td>同行援護</td> <td>53 件</td> </tr> <tr> <td>移動支援</td> <td>74 件</td> </tr> <tr> <td>行動援護</td> <td>98 件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,953 件</td> </tr> </tbody> </table>			サービス内容	件数	家事支援	875 件	身体介護	734 件	身体介護 (重度)	93 件	通院介助	26 件	同行援護	53 件	移動支援	74 件	行動援護	98 件	計	1,953 件
サービス内容	件数																				
家事支援	875 件																				
身体介護	734 件																				
身体介護 (重度)	93 件																				
通院介助	26 件																				
同行援護	53 件																				
移動支援	74 件																				
行動援護	98 件																				
計	1,953 件																				
事業名	放課後等デイサービス事業																				
事業形態	自主事業 決算額 収入 25,958,663 円 支出 25,958,663 円 当期資金収支差額 0 千円																				
実施内容	<p>障がい児を放課後や長期休暇中預り、本人の健康状態を確認しながら社会適応能力向上のための指導や、遊びを通して見守等の支援をしました。</p> <p><u>新型コロナウイルス感染予防対策として、4 月及び 5 月に学校が休校となったことにより、利用者が大幅減となりました。また、1 月の大雪では一日休館とし、さらに四日間学校が休校となり、利用者が減少となりました。</u></p>																				

・利用状況（定員10人）

月	登録人数	月合計利用者数	1日平均利用者数
4月	26人	167人	6.6人
5月	〃	134人	5.8人
6月	25人	271人	10.4人
7月	〃	268人	10.7人
8月	〃	234人	9.3人
9月	24人	261人	10.8人
10月	〃	287人	10.6人
11月	〃	243人	10.5人
12月	〃	246人	10.2人
1月	〃	193人	8.7人
2月	〃	229人	10.4人
3月	〃	255人	9.8人
計		2,788人	9.5人



支援ルームでのボール遊び

事業名 居宅介護支援事業

事業形態 自主事業 決算額 収入 25,337,914 円 支出 25,422,500 円 当期資金収支差額△84,586 円

実施内容

要介護者等が居宅サービス等の適切な利用をすることができるように、その要介護者等の依頼を受けて、居宅介護サービスの作成、介護相談、事業者との連絡調整等の適切な居宅介護支援を提供しました。

・利用状況（R3. 3. 31日 現在）

介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
利用者数	8人	20人	20人	58人	31人	13人	2人	152人

・令和2年度介護計画、予防計画、認定調査年間実績

	件数
介護計画	1,520件
予防計画	342件
認定調査	67件

事業名 訪問介護事業

事業形態 自主事業 決算額 収入 20,140,833 円 支出 20,277,227 円 当期資金収支差額△136,394 円

実施内容

利用者が有する能力に応じ、可能な限り自立した日常生活が営むことができるよう、利用者の選択により、訪問介護による身体介護等の生活援助を提供しました。

1月の大雪により10件サービスが中止となりました。

・利用状況（R3. 3. 31日 現在）

介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
身体、身体+家事	—	—	2人	5人	1人	5人	1人	14人
家事・生活援助	8人	9人	7人	6人	0人	1人	0人	31人

令和2年度内容別年間実績

サービス内容	件数
身体介護	1,282件
身体+家事	1,173件
家事・生活	2,018件

事業名 和泉通所介護事業

事業形態 自主事業 決算額 収入 26,859,730円 支出 30,133,422円 当期資金収支差額△3,273,692円

在宅で生活している要介護認定を受けられている方を対象に、デイサービスセンターで入浴、食事、機能訓練、レクリエーション等のサービスを提供し、社会的孤立感の解消を図るとともに、家族の身体的・精神的負担の軽減を目的に実施しました。

新型コロナウイルス感染予防対策として、年間を通しての各種団体との交流事業を中止し、さらに、1月の大雪により一日休館及び一日営業時間短縮としました。また、2月には新型コロナウイルス感染拡大防止のため一日休館とし、県外者と接触のあった利用者11人に対してサービスの利用を1週間休んでいただきました。

・利用状況 (R3. 3. 31日 現在) (定員18人)

介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	障害	合計
利用者数	2人	2人	3人	7人	6人	0人	0人	0人	20人

実施内容

月	月合計利用者数	1日平均利用者数
4月	225人	10.2人
5月	220人	10.4人
6月	231人	10.5人
7月	241人	10.4人
8月	221人	10.5人
9月	226人	10.2人
10月	228人	10.3人
11月	188人	8.9人
12月	191人	8.6人
1月	159人	8.3人
2月	158人	8.3人
3月	198人	8.6人
計	2,486人	9.6人



レクリエーション (福笑い)

事業名 天神通所介護事業

事業形態 自主事業 決算額 収入 58,255,807 円 支出 58,255,807 円 当期資金収支差額 0 千円

在宅で生活している要介護認定を受けられている方を対象に、デイサービスセンターで入浴、食事、機能訓練、レクリエーション等のサービスを提供し、社会的孤立感の解消を図るとともに、家族の身体的・精神的負担の軽減を目的に実施しました。

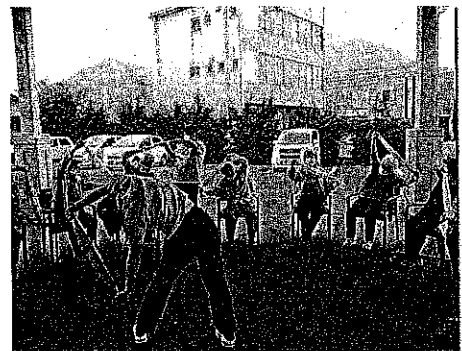
新型コロナウイルス感染予防対策として、県外者と接触のあった利用者 22 人に対してサービスの利用を 1 週間休んでいただきました。また、1 月の大雪により二日間休館及び三日営業時間短縮としました。

・利用状況 (R3. 3. 31 日 現在) (定員 25 人)

介護度	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	障害	合計
利用者数	1 人	11 人	13 人	16 人	8 人	3 人	1 人	2 人	55 人

月	月合計利用者数	1日平均利用者数
4月	476人	18.3人
5月	494人	19.0人
6月	526人	20.2人
7月	569人	21.1人
8月	530人	20.4人
9月	533人	20.5人
10月	555人	20.6人
11月	488人	19.5人
12月	517人	19.9人
1月	420人	19.1人
2月	511人	21.3人
3月	583人	21.5人
計	6,202人	20.1人

実施内容



レクリエーション (健康体操)



社会福祉協議会のシンボルマーク

このマークは、全国共通の社会福祉協議会のシンボルマークです。

社会福祉及び社会福祉協議会の「社」を図案化し、「手をとりあって、明るいまあわせな社会を建設する姿」を表現しています。